

せつ明文の内よつを読みとる

正答数

4

マーク



月

日

年

組

番

名前

つぎの文しようを読んで、下のもんだいに答えましよう。

① すきとおった青い海が、どこまでもつづいています。なんと、たくさんの魚がいるのでしょうか。なんと、色あざやかなのでしょうか。うみがめも、きもちよさそうにおよいでいます。

ここは、日本の南のあたたかいさんごしようの海です。

うみがめが、さんごの間をおよいでいると、くまのみ、という魚に出会いました。おや、いそぎんちゃくのところにいて、だいじようぶなのでしょうか。② なぜって、いそぎんちゃくは、魚を食べるからです。

しんぱいりません。くまのみは、いそぎんちゃくと大のなかよしなのです。

どこからともなく、たくさんの魚がやってきました。きれいなしまが目立ちすぎて、大きな魚におそれないでしようか。

きらきらとかがやくさんごしようの海では、明るい色の方が目立たないといふからふしぎです。③

それに、しまもようの魚がすばやくおよぎまわっていたらどうでしょう。

あいてには、線のようなもののはしっているように見えるかもしれせんね。

(武田正倫「北のさかな 南のさかな」より)

① すきとおった青い海とありますが、ここはどここの海ですか。□□にあてはまることばを、文しようの中から五字でぬきだしましよう。

日本の南の、

さんごしようの海。

② だいじようぶなのでしょうかとありますが、① それはだれ(何)のことをしんぱいしているのですか。つぎから一つえらびましよう。

1 さんご

2 うみがめ

3 くまのみ

〔 〕

② なぜしんぱいのですか。□□にあてはまることばを、文しようの中からぬきだしましよう。

から。

は、

③ ふしぎですとありますが、どのようなことがふしぎなのですか。つぎから一つえらびましよう。

1 さんごしようの海では、明るい色の方が目立たないといふこと。

2 さんごしようの海では、しまもようの魚は目立ちすぎておそれないといふこと。

3 さんごしようの海では、目立つ色の方がおそれるといふこと。

〔 〕

せつ明文の内よつを読みとる

- | | |
|-----|-------------------------|
| (1) | あたたかい |
| (2) | ① 3 |
| (3) | ② いそぎんちやく(は、)魚を食べる(から。) |
| | 1 |